

## 2015「タイ環境学習キャンプ」報告

今回キャンプに同行した、若林先生の教え子のニックネーム ビア君に書いてもらった原稿です。

私は8月9日から14日までナコンナーヨックにあるパンダキャンプへ行きました。そこには木で造られた住宅があってキャンプの周りには色々な木が植えてあります。とても涼しいところでした。また、トッケイ(トカゲ)、蜚、蠍までもいました。これらは首都バンコクではなかなか見られない生き物ですから、見るとなんとなくワクワクしました。蠍は初めて見ました。蜚は初めて見たのはまだ小さかった頃で、遠くから見ましたが、今回は近くで見ました。蜚のお尻から光がピカピカ出ていて可愛い生き物だと思いました。私は蜚を一匹捕まえて日本人の友達にあげましたが、あげた後で、あることに気づきました。それは小さかった頃には蜚はいっぱいいましたが、今はすごく少ないこと。そして、数少ない蜚を捕まえて大丈夫かなと思って、友達に蜚を自然に戻すよう言いたかったのですが、友達と会ってまだ2、3日だったから、言わない方がいいと思って、言わなかったです。しかし、観察のためなら大丈夫だと思いました。

このキャンプで良かったことはこれだけではありません。色々な自然のハーブや首都にない野菜などで作られた料理を食べることもできました。料理はバンコクと同じ種類ですが、味が違いました。なぜかは分かりませんが、もしかしたら地方の野菜の方が新鮮か、料理を作った人が上手だったからかもしれません。美味しかったです。おまけに、ハーブは体にすごいいいです。



また、このキャンプの近くにある村の人々はみんな優しくて、住みやすいと感じました。その村へ行くと皆さんに大歓迎してもらいました。市場にはいろいろな店があってみんな笑顔で商品を買っていて、もうすぐ母の日なので、音楽会もやっていました。品物はだいたい自然のものでした。お水さえハーブから作られていました。首都と比べると、雰囲気は全く違いました。

私たちは、バーンライ郡だけではなく、有名な野生動物保護区フワイカーケンにも行きました。そこでは、色々な野生動物が見られたし、珍しい鳥、虫、大きい動物もいました。ある観察塔から、自然の中で生活している色々な動物を望遠鏡で見ました。新しい経験ができましたが、残念なことに、5-6種類の動物しか見られませんでした。普段はもっと現れるそうです。

次の日は山に登りました。途中で、友達とサイチウやお花を見たりしました。頂上には、休憩場所みたいな所があったので、休憩して、遠く広い森や、山の景色を見て、記念に日本人とタイ人の皆さんと一緒に写真を撮りました。山を降りる途中では、珍しいことがありました。道にトラの足跡があったのです。大きさは私の手くらいでした。皆さんは本物のトラが見られなくて残念そうでした。とともに、運が良かったと思いました。それから、お花畑みたいな所へ行くと、池があって綺麗でした。蝶々がここに集まってヒラヒラ飛んでいました。また、有名な自然保護活動家。スーブ・ナカサティアンが使っていた官舎も訪問できました。すごく感動しました。なぜなら、こんなに美しく大きな



森がまだ残っているのは、スーブ・ナカサティアンのおかげだからです。官舎の前に置いてある机の上に大きな本がありました。その本に、訪問者の感謝の気持ちがいっぱい書いてありました。私と友達も書きました。



また、この野生動物保護区では、色々な動物や虫がいました。例えば、動物のウンチが好きな虫です。この虫がなんなのか詳しく分かりませんが、私の友達は興味深そうでした。どうやら、ウンチを食べている虫のようです。また、マカモンというピーナツがありました。マカモンは世界で一番大きいピーナツだそうです。皮は3、4層だったので、食べにくい食べ物だと思いました。



この冒険はまだ終わりません。私たちは、パンダキャンプに戻ってカレンの村を訪問しました。すごい知識を得ることができました。どんな知識かというと、田舎での生活の仕方です。ハーブの知識や、キノコのこと、自然で採れる植物を材料とした体にいい料理の作り方、食べられるキノコと食べられないキノコとの区別の仕方も習得できました。しかし、カレンのお宅は

開放的な家で、トイレも清潔ではなくて、不便なところでした。カレンの人はすごいと思いました。また、パンダキャンプの近くにあるお寺と織物のお店へ行きました。それに、人生で、初めて洞窟に入るという経験をしました。そこは、暗くて、ほとんど何も見えないところでした。コウモリがいっぱい飛んでいました。9種類もいるそうです。私はそこで一番たくさん見たのはカエルコウモリです。止まっている時、カエルの姿をするので、カエルコウモリと呼ばれているそうです。



最後に、今回の旅で日本人とタイ人の皆さんに素晴らしい経験をさせていただき感謝しています。今年で、今回の旅ほどいい経験はないと思っています。一番感動したところはフワイカーケンですが、また、したかったことがあります。まだ行っていないビックツリーという所へ行きたかったのです。花、動物ももっと観察したかったのです。今度機会があればぜひ行きたいです。まだ書き足りないことがいっぱいあります。パンダキャンプでワークショップしたことや、皆さんの優しさのことや、美しいお寺など。だらだら書きましたが、内容が長過ぎて読みにくく分かりにくくなったかもしれません。そのことが心配です。でも、今回の経験は私にとってとても素晴らしいものだったということを皆さんにお伝えしたかったのです。

キェッティサック クラセーチョン

